

会 議 要 旨 書

会議名	令和5年度第1回三鷹市文化財保護審議会定例会
日時	令和5年4月17日(月)午後6時30分～8時
場所	三鷹市教育センター2階 第二中研修室
出席委員 (8人)	中野達哉、濱野周泰、小林謙一、福野明子、神野善治、初田香成、日高慎
欠席委員 (1人)	M・ウィリアム スティール
事務局 (4人)	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化部調整担当部長・生涯学習課長 齊藤真、生涯学習課主査 下原裕司、生涯学習課主事 齊藤満里奈
会 議 の 公 開・非公開	公開
傍聴人数	1人

1 開会

事務局より、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき会議の公開、会議録の作成、公開についての説明及び配付資料の確認を行った。

また、事務局の人事異動について、前任のスポーツと文化部調整担当部長 高松真也の後任として、スポーツと文化部調整担当部長 齊藤真が令和5年4月1日付けで兼務・着任した。

2 議題

(1) 令和4年度の文化財事業報告について

事務局から、令和4年度に実施した事業について、主要なものを報告した。

【事務局】三鷹こ線人道橋調査と、民具講座について委員より補足をお願いしたい。

【A委員】こ線人道橋調査について、古レールを転用したこ線人道橋について、一昨年度に実測調査を実施、昨年度は文書と類例の調査を実施したところ、全国的に急速に跨線橋の撤去・解体が進んでいることがわかった。試行錯誤の調査であったが、こ線人道橋を切り口に都市の歴史を見る方法について興味深い知見を得ることができた。

【B委員】民具講座について、令和3年度より定員を増やし、また時間を夜に設定したところ、都内の学芸員の方や若い世代の方など、昨年度とは違った参加者が増えたように思う。

【C委員】新型コロナウイルス感染症対策で中止、変更した事業はあるのか。また、参加者や実施方法に変化はあるのか伺いたい。

【事務局】餅つき大会は中止となった。大沢の里古民家での講座等事業は、これまでは定員を設けていなかったが、各講座等において定員を設けるようにしている。また、文化財講演会では事前予約なしで受け付けていたが、事前予約制とし、定員を設けて実施するよう変えている。

【D委員】オンラインと現地とのハイブリッドで開催した事業はあるのか。

【事務局】『わさびサミット2022』をハイブリッドで開催した。遠方の講師にオンラインにて出演していただき、参加者についても現地とオンラインの両方で受付した。

【C委員】コロナを経て参加者数は戻ってきているのか。

【事務局】コロナ以前は定員を設けずに講座やイベントを行っていたが、今後も同じように進めていくのは難しくなったため、定員を設けて実施しているところである。文化財講演会もこれまでは事前申込なく当日会場へお越しいただき、混んでくれば後方を椅子のみで受入数を増やすよう柔軟に対応してきたが、コロナ禍以降は事前申込制としている。そんな状況であるが、満員となることが多く、また定員上限を増やしたりしているので、参加者数は戻ってきていると感じている。

【B委員】『みいむ』はとても良い内容になっている、しかし各記事において執筆者が明記されていない、文責を明記し、公式に参考文献としてできるようにしたほうがよいだろう。

【大朝部長】依頼や寄稿による原稿は、執筆者を記載している。記載がないものはスポーツと文化部生涯学習課に文責があると解釈していただいてかまわない。

【C委員】その旨を奥付に記載してはどうだろうか。今後は文責を明記し、参考文献として積極的に利用してもらえるようにするほうがよいだろう。

(2) 令和5年度の文化財事業予定について

事務局から、令和5年度主要事業について説明した。

【事務局】今年度は大沢の里水車経営農家母屋の耐震工事、大沢の里古民家隣接地の駐車場設置工事を予定している。講座、講演会、体験学習、展示等については、令和4年度と同程度の事業を行う計画である。

【E委員】市立第五中学校遺跡の設備改修工事に伴う調査、及び天文台構内遺跡の調査についてもう少し詳しく伺いたい。

【事務局】市立第五中学校遺跡については、校舎まわりの既存配水管等の入れ替え工事である。本遺跡は遺構が濃密に分布しており、これまで同様の工事によっても、部分的に未調査の遺構が検出されている。このため、事前に工事範囲部分を試掘調査し、遺跡が遺存している範囲は事前に調査を終了させるための調査を行う計画である。時期としては夏休みを予定している。

天文台構内遺跡の調査については、まちづくり開発を進めるにあたり、遺跡保全と開発を両立させるため、遺跡の分布状況を確認すべく事前に試掘を実施する予定である。

【E委員】国立天文台の地域は、第二次大戦時の戦争遺構がある可能性があるのも、そちらも気を付けていただきたい。具体的な動きがわかってきた段階でご報告いただきたい。

【A委員】三鷹駅前地区の聞き取り調査について、どのようなことを実施されるのか伺いたい。

【事務局】駅前コミュニティ・センターの方に、三鷹駅前地区のことに詳しい方を紹介いただいたので、その方に伺ったところ、こ線橋建設当時のことは幼かったため記憶していないとのことであった。しかし、引き続き駅前に住んでいた方に対して調査を行っていきたいと考えている。

【C委員】駅前地区の地図は市が所有しているのか。昔の駅前の復元などできたら面白いのでは。

【大朝部長】駅前地区は、昔から住まわれている方が多く、貴重な資料の提供やご意見がたくさん聞けるのではないかと考えている。

【F委員】埋蔵文化財の展示会や講演会の見通しは立っているのか伺いたい。

【事務局】詳細については今後調整していく。

【C委員】展示会・講演会について市内小中学校に呼び掛けてもよいのではないか。

【E委員】実施した展示会は、せっかく準備するのだから、少しスケールを小さくしてでも、三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」で巡回展示してもよいのではないか。

【C委員】各コミュニティ・センターで巡回展示していくのはどうだろう。

【D委員】各コミュニティ・センターをまわるなら、毎年ではなく、数年に一度などにして、展示内容をパッケージにしたなら市の負担も少なくなるのでは。

また、ICUを会場として、2年後くらいに開催できるよう準備を進めることもできるかもしれない。

【F委員】埋蔵文化財の収蔵について現状を伺いたい。

【事務局】三鷹市遺跡調査会が解散し、建物自体も老朽化のため使えなくなった。収蔵品は埋蔵文化財調査室の保管庫だけでは不足するため、現在分散して保管しているが、暫定的な収蔵施設として他課の施設を借りている状況である。

(3) 「三鷹まると博物館」事業あり方検討助言者会議の設置について

【齊藤調整担当部長】令和4年6月20日に行われた、三鷹市文化財保護審議会6月定例会にて、本審議会より三鷹市長及び三鷹市教育委員会教育長宛てに、『「三鷹まると博物館」事業の将来にわたる恒常的かつ魅力的な運営についての提言』をいただいた。

この提言を受けて、令和5年度から、有識者会議を設置し、具体的な事業のあり方を検討することとなった。

会議の名称は、『「三鷹まると博物館」事業あり方検討助言者会議』とする予定である。会議は、9月までに3回開催し、会議の成果を、令和6年度の予算に反映させていきたいと考えている。なお、会議の内容については、当審議会の定例会の中で報告する。その後、4回目の会議を令和6年2月に開催し、令和6年度の事業運営を円滑に進めていくこととしたい。

【C委員】令和5年度の助言者会議では、どのようなところまで進めるのか伺いたい。

【大朝部長】提言のすべてを令和6年度に向けて盛り込むというのは難しいので、短期、中長期といった形の計画を検討していきたい。

【B委員】三鷹市の水車経営農家は国指定を目指せる文化財だと思っている。もっと周知していきたい。

(4) その他

【事務局】「みいむ」第5号及び令和5年度定例会の予定について事務局より報告
次回定例会は令和5年7月10日（月）午後6時半からとする。

【C委員】以上をもって、令和5年度第1回三鷹市文化財保護審議会定例会を終了する。